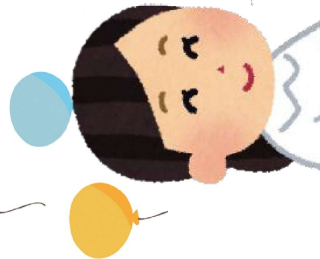


認知症初期集中支援チームとは...

認知症サポート医・医療職・福祉職の3人がおおむね6か月で支援をします。

チーム員がご自宅にうかがい、本人らしい暮らしの実現に向けて各種サービス情報提供や生活上の工夫を一緒に考えます。



保健師・看護師



おばらクリニック
小原宏一 医師



菊川脳神経内科クリニック
菊川公紀 医師



介護士・社会福祉士

わたしたちはチームの一員です

まずはお近くの相談窓口につながる！

【燕市】

地域包括支援センターおおまがり
地域包括支援センターさわたり
吉田地区地域包括支援センター
分水地区地域包括支援センター

☎0256-61-6165
☎0256-62-2900
☎0256-94-7676
☎0256-97-7113

【弥彦村】

弥彦村地域包括支援センター

☎0256-94-1030

これからの自分らしい日々のため早めに相談

【発行：初期集中支援チーム調整拠点】
燕市健康福祉部長寿福祉課
0256-77-8157
弥彦村福祉課
0256-94-3133



認知症の困りごとに 燕・弥彦

認知症初期集中 支援チーム



がサポートします

こんなことありませんか？

通帳が見つからない。一緒に探してほしい。盗られたかもしれない。忘れっぽくなって困っている。

相談者：本人



※相談は無料です。

何度も近所の人を訪ねたり、髪はボサボサで、食事も食べていないみたい。現金や保険証等の貴重品とチラシがぐちゃぐちゃになっている。様子を見て行ってほしい。

相談者：民生委員

父は、医者に行きたがらず、銅を焦がしたり、「お金を取られた」と言うのもひどくなっていく。将来介護が必要になった時に困るのではないかと不安です。

相談者：同居の息子

幻覚が見えたり、帰れなくて警察に保護されたりする。認知症と診断されているけど、本人が怒ってサービスに行ってくれない。

相談者：妻

※これらは実際に
よせられた相談です。



葉を出したばかりなのに「無くなった」と言う。一人で診察に来るため家族の連絡先はわからない。他院から認知症の薬もできているようだ。困っていないか生活を確認してきてほしい。

相談者：かかりつけ医

燕市 弥彦村

2021年3月作成

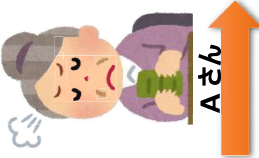
相談の流れは

初期集中支援の一例

① Aさんの場合

いつの間にか財布が無くなるの。無ささないよう、しまっているのに... きっと息子が盗ったのよ！ 施設そう言うたら、あやまるどころか「施設へ行け！ と言うのよ？ ひどいでしょ？ 私は、もの忘れなんじゃない！ 施設にも絶対行きません！！」

このまま放っておいても良いのだろうか... 悩んだ息子さんは、友人に聞いた地域包括支援センターに相談しました。そして**初期集中支援**が良いのでは？ と勧められました。



Aさん

初期集中支援（おおむね6か月）のサポート

家庭訪問

- ◎ Aさんの思いを聞き、日々の楽しみなどをうかがう
- ◎ Aさんと息子さんから、今後の暮らしの意向を確認
- ◎ 息子さんへの助言、ねぎらい
- ◎ ご友人も交えての相談 他

医療面での支援

- ◎ 血圧測定や健康観察
- ◎ 既往歴の確認
- ◎ 息子さんの健康相談
- ◎ 専門医の情報提供や受診の付き添い 他

生活面での支援

- ◎ 介護保険の申請代行
- ◎ 介護施設の見学
- ◎ 地域による見守りを提案
- ◎ 趣味や交流、地域の集まりなどの紹介 他

大好きなペット達と一緒にだと気持ちが悪く、お世話もあるから、家を空けてデイサービスには行けないのよ...

Aさんは、大好きなペット達と離れることなく一緒に家にいられること、息子さんも「もの忘れ」への向き合い方、困った時や「いざ！」と言う時の相談先がわかり、暮らしが落ち着きを取り戻したところで、次の支援者に引き継ぎました。

支援を受けての感想

◎ もう家には来ないのかい？ さびしくなるね...
◎ 息子もいるし、幸せで困ったことは一つもないよ。

◎ 何度も家に来て話を聞いてもらい、ありがたかったです。話のたびに母も元気になりました。
◎ 最近はやっと落ちついて来たので、ペットを連れ久々に二人で旅行に行ってきました。
◎ 次の休みは医者に連れて行ってインフルエインザの予防注射でもしてきますよ。

② Bさんの場合

どうなっているの？

実際の相談例をご紹介します



Bさんの妻



Bさん

夫は認知症と診断され薬をもらいましたが、飲まないんですよ、いやだと言って... 犬の散歩が日課で一日に何回も出かけて、ご近所に迷惑をかけているのでは...と、心配で、近くの**地域包括支援センター**に相談しました。

初期集中支援（おおむね6か月）のサポート

家庭訪問

- ◎ 夫婦のご意向や思い、ご自宅での暮らしの状況などを確認しました

主治医へ情報提供

- ◎ 薬を飲まない状況を伝え、貼り薬に変更していただきました

介護保険の代行申請

ケアマネジャーの紹介

- ◎ ご自宅に近いデイサービスを紹介、一緒に見学に行きました

こいつ（愛犬）とずっと一緒に暮らしたいね。

散歩のあとは足が温まり、しびれが軽くなって調子がいいんだよ。散歩も続けたいな。

愛犬との散歩を続けるために

- ◎ ご近所の方々にあいさつと、見守りをお願いしてきました。
- ◎ 犬と一緒にだと迷わないので、一人で散歩をしている時は、自宅などへの連絡をお願いしました

ご近所の皆さんは、ご本人と愛犬をよく知っており、仲良くお話をする間柄でした。

デイサービスセンターへ通い始め、旧友や新しい友人との交流も始まったところで、次の支援者に引き継ぎました。

支援を受けての感想

◎ デイサービス？ あそこは昔から自分の遊び場、庭みたいなもんなさ、また遊びに行ってくるよ。
◎ 風呂で足を温めるとしびれが良くなるんで、愛犬との散歩も続けられているよ。

◎ デイサービスに通い始めて、最近はお風呂にも入れています。
◎ これからは回数を増やし、ショートステイも使ってくれば、私も楽になるんじゃないかな。（支援後の奥さん）

（支援後のAさん）

（支援後の息子さん）

（支援後のBさん）

（支援後の奥さん）